

## ブース展示

	研究テーマ名	氏名	所属
1	デジタルアーカイブとオープンアクセスに向けた学術情報基盤図書館貴重書の資料学的研究	遠藤 隆俊 津野 倫明 望月 良親 湊 邦生	理事(総務・企画・危機管理担当) 人文社会科学部門 教育学部門 地域協働学部門
2	高知大学体操教室における指導事例報告と今後の展望	神門 大輔	教育学部門
3	「情報科学・データサイエンス・教育プログラム」における教育研究	老川 稔 岡本 竜 河井 達治 木脇 太一 塩見 日隆 鈴木 一弘 高田 直樹 續木 大介 三好 康夫 森 雄一郎 杉山 成	理工学部門
4	海洋立県・高知のウェルビーイングに資する海洋DX人材育成と海洋新産業創発への機能整備	岡村 慶 野口 拓郎 平岡 雅規 斎藤 知己	複合領域科学部門 理工学部門
5	海洋コア国際研究所ですすむ先端的な科学研究	山本 裕二	海洋コア国際研究所
6	地球掘削科学国際研究拠点・海洋コア国際研究所-高知コアセンターとしての取り組み	池原 実 奥村 知世 浦本 豪一郎	海洋コア国際研究所
7	Internet of Plants (IoP) の共創と挑戦	野村 浩一 齊藤 雅彦 西口 修司	IoP共創センター
8	希望創発センターの活動紹介 『共に語り、共に学び、共に創る』	渡辺 茂	希望創発センター

## ユニットのボトムアップ研究プロジェクト

	研究テーマ名	氏名	所属
1	高知大学に所属する研究者による高知の「総合知」構築のための基盤づくり: オンパク手法を応用した発見型高知研究モデルの開発と実践	岩佐 光広	人文社会科学部門
2	次世代の地域人材育成に資する教材開発・利活用支援システムの構築	野村 幸代	教育学部門
3	子どもの心身及び社会性はこのようにして育まれる ー我が国における新たな文化創造学習のモデル構築に向けた基盤研究ー	幸 篤武	教育学部門
4	ヒドラ分泌物が有する強力な除藻作用の社会実装を見据えた実証的研究	有川 幹彦	理工学部門
5	マイクロRNA産生阻害因子による肝疾患、筋萎縮、生殖系列への影響の検証	樋口 琢磨	基礎医学部門
6	蛍光ソルバトクロミック色素を介した化学・医学・薬理学の複合的研究	仁子 陽輔	複合領域科学部門
7	野外における温度環境が昆虫の成長に与える影響の解明	鈴木 紀之	生命環境医学部門
8	データサイエンスが駆動する持続的な青枯病防除の新規標的の探索	都筑 正行	生命環境医学部門
9	畜産DXにおける「見える化」技術の基盤開発	松川 和嗣	生命環境医学部門

## 教員ポスター展示

	研究テーマ名	氏名	所属
1	精子形成に不可欠な硫酸化糖脂質	本家 孝一	理事(研究・医療・評価・IR担当)
2	企業情報の開示と競争市場に関する経済分析	雨宮 祐樹	人文社会科学部門
3	生命科学英語論文執筆支援プラットフォームの開発	石井 達也	人文社会科学部門
4	Input FloodとFocused Task(dictogloss)がもたらす効果的な第二言語習得法	今井 典子	人文社会科学部門
5	「いわく言いがたいもの」の現象学	佐野 泰之	人文社会科学部門
6	土佐の大名長宗我部氏に関する研究	津野 倫明	人文社会科学部門
7	英語圏文学研究	渡邊 裕子	人文社会科学部門
8	高知県の文化振興に資する彫刻作品の制作実践 -井上ワイナリーのいち醸造所のレリーフ彫刻-	阿部 鉄太郎	教育学部門
9	ボランタリー地理情報を用いた観光地の分析	佐竹 泰和	教育学部門
10	高知県のコケ植物	片桐 知之	理工学部門
11	セラミックスでエネルギー問題に挑む -新しい電池を可能にする固体電解質の開発-	島内 理恵	理工学部門
12	防災と環境を両立する「蛇籠技術」の普及に向けた機関横断型の取り組み	原 忠	理工学部門
13	竜巻発生予測の高精度化に向けた挑戦	佐々 浩司	理工学部門
14	高知で発生する線状降水帯	村田 文絵	理工学部門
15	高知県自生植物からの農薬シーズの探索	手林 慎一	農学部門
16	抗体分泌細胞の分泌制御メカニズムに関する研究	都留 英美	基礎医学部門
17	日本人 2 歳男児におけるビタミンD欠乏と神経発達との関連 -エコチル調査より-	菅沼 成文 安光ラヴェル 香保子	連携医学部門 医学部
18	健康管理手帳制度による健康診断の諸外国での実施のための研究	菅沼 成文 栄徳 勝光	連携医学部門
19	胸囲頭囲比と産科および新生児の有害状態	菅沼 成文 JP Naw Awn	連携医学部門 医学部
20	深層学習を用いたじん肺重症度分類	菅沼 成文 武内 佑磨	連携医学部門 医学部附属病院 医療技術部放射線部門
21	職業性肺疾患[塵肺]の病態解明と展望	菅沼 成文 丸尾 奈生	連携医学部門 医学部
22	高知ユニットセンターにおける成果発表 ～子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)より～	菅沼 成文 山崎 慶子	連携医学部門 医学部
23	建設労働者：日本でアスベスト関連疾患の罹患率が最も高い産業	菅沼 成文 Leli Hesti Indiriyati	連携医学部門

24	学校閉鎖が小児救急搬送に与える影響	竹内 慎哉	臨床医学部門
25	COVID-19感染流行期における産婦人科救急搬送の状況について	都築 たまみ	臨床医学部門
26	長期浸水地域における社会福祉施設からの避難	西山 謹吾	医学部
27	COVID-19パンデミック前後の急性アルコール中毒による救急搬送の比較	南 まりな	医学部附属病院 次世代医療創造センター
28	公共的余暇施設における発達障害の感覚過敏に配慮したセンサー・フレンドリーな取組	高橋 秀俊	医学部
29	持続可能な地域社会形成に向けた支援性資金の循環システムに関する研究	梶 英樹	地域協働教育学部門
30	早期避難意識の醸成のための人力洪水・土砂災害体感装置の開発	藤岡 正樹 大槻 知史	地域協働教育学部門
31	土佐町水源保全における産業連関分析を中心とした効果測定に関する基礎研究	松本 明 中澤 純治 大崎 優	地域協働教育学部門
32	納豆プラスチック ～ 世界が変わる／高知から変える ～	芦内 誠	生命環境医学部門
33	希少和牛の革新的保存・生産技術の開発	松川 和嗣	生命環境医学部門
34	地域資源の給餌が土佐あかうしに与える影響	松川 和嗣	生命環境医学部門
35	レアメタルを有効に使うって社会に貢献する:ポリオキソメタレート化学	上田 忠治	複合領域科学部門
36	分析技術開発から県内酒造との新商品開発まで	小崎 大輔	複合領域科学部門
37	高知県浦ノ内湾における人新世の重金属濃度変化とその起源	村山 雅史	複合領域科学部門
38	総合研究センター 遺伝子実験施設における研究教育支援の取り組み	加藤 伸一郎	総合研究センター
39	高知海岸におけるアカウミガメの上陸産卵と土佐湾海洋環境の関係	斉藤 知己	総合研究センター
40	総合研究センター 実験実習機器施設・RI実験施設「研究支援体制と共通利用設備の紹介」	坂本 修士	総合研究センター
41	マウスで解明する医学の未来	延本 篤也	総合研究センター

## 大学院生ポスター展示

	研究テーマ名	氏名	所属
1	中国北京市の若者における持ち家負担の男女の割合の変化に関する調査	刘 俊	人文社会科学専攻
2	閉鎖セルを用いた完全閉鎖式の水銀分析法の開発	坪井 春樹	理工学専攻
3	約150年ぶりとなる深海の稀種ドウケツエビ (Spongicolavenustus) の幼生発生	中川 幹大	理工学専攻
4	砂浜におけるスナガニ類の分布生態に影響を与える要因について	福塚 理佐子	理工学専攻
5	タンパク質から脂質性リガンドを取り除く研究手法の検討	前川 瀬里菜	理工学専攻
6	小中学校の廃校が人口変化にもたらす影響の実証分析	山田 七海	理工学専攻
7	スピルリナ多糖体はSOD2を誘導することでミトコンドリア機能を回復して抗酸化作用を示す。	前島 由佳	農林海洋科学専攻
8	養液栽培における植物病原体の殺菌不活化技術の開発	松本 千蓮	農林海洋科学専攻
9	ジメチルマロン酸による抗肥満作用の解析	森岡 佑季	農林海洋科学専攻
10	浦戸湾水域で採取した薬剤耐性菌の起源解析	吉本 龍晟	農林海洋科学専攻
11	「音楽の力」と「感性」の回復指向によるソーシャルイノベーションの提案	中山 裕千	スポーツ・芸術文化共創専攻
12	不登校の未然防止にむけた協働体制の充実—ピア・サポートに焦点をあてて—	赤崎 浩平	教職実践高度化専攻
13	高等学校における就労に関わるソーシャルスキルの般化を目指す通級指導	小野 哲史	教職実践高度化専攻
14	複式学級における協働的な学びの促進を図るICT活用	樋口 桃子	教職実践高度化専攻
15	電気透析を用いたイオン分離法による環境・医療分野への応用	野川 桜寿	応用自然科学専攻
16	ストレスに関連するバイオマーカーの抽出方法	明珍 尋紀	応用自然科学専攻
17	高知海岸におけるアカウミガメの産卵地環境調査	山口 永晏	応用自然科学専攻
18	レビー小体型認知症における不安の神経基盤	木村 直広	医学専攻
19	臍帯血移植細胞の脳内浸潤からみた小児脳性麻痺治療メカニズムの解明	橋本 亜季	医学専攻
20	正常妊婦の ESBL 産生菌の保菌状況とそれが周産期医療に及ぼす影響について: 横断研究	畑中 重克	医学専攻
21	排水ベースの疫学を用いたガーナにおける腸管ウイルスの集団感染ダイナミクス: 時空間変動とリスク評価	Lawrence Henry Ofosu-Appiah	医学専攻
22	Geofluid behavior prior to the 2018 Hokkaido Eastern Iburi earthquake: insights from groundwater geochemistry	Zandvakili Zahra	黒潮圏総合科学専攻
23	樹木の上で生きる植物、維管束着生植物は、どのような場所にどのような理由で生育しているのか?	瀬戸 美文	黒潮圏総合科学専攻

24	赤潮プランクトンとウイルスとの関係をさぐる	船岳 祐作	黒潮圏総合科学専攻
----	-----------------------	-------	-----------